



新聞番會

三

八尾善版

大阪鳩の内畳屋町ニ
住む狂言作者奈河重助
と云ハ作者中への者ハ
株追々門人夥しく知言
も又引ければ半年の娯め
鏡飾を貰ふ事山の如し
家居さまで廣からぬ座
敷より基所まで透間も無
く積重ね宿所と云べき也

こつかふ三尺四方かみきす是
と見て或人祝哥を贈る

尉と姓満老乃くくすりあもも
かび臭き喃られと聊神國の遺展あれは爰に記す

